

こじか荘かわら版



鶴寿千歳
鶴のように長生きしますように
と願いを込めて

(特養課長 香川直規)

昨年の夏は、「酷暑」と言われるほど暑さの厳しい日々でした。冬は来ないのではないかと思っていました。短い秋を終え、例年通りの冬が到来して、寒い日が続いています。ご利用者の会話にも「寒いです」「ね。」「が挨拶のようになっています。」「今朝は霜が降りて外が真っ白じゃね。」「と言われるご利用者に、「あれは雪です。今朝、初雪が降ったんですよ。」「と一緒に笑った出来事がありました。年の瀬には餅つき大会やクリスマス会を開催しました。餅つき大会の後には、つきたてのお餅をお汁粉で食べていただきました。クリスマス会ではサントラさんからのプレゼントや合唱を楽しんでいただきました。そんな師走でしたが、体調に気を付けてながら、お元気で新年を迎えることができました。新しい年が、ご利用者にとって笑顔溢れる毎日になるよう、お手伝いさせていただきます。

職員紹介インタビュー



ご利用者の笑顔はまず私の笑顔から

まずはご出身を教えてください。

瀧口 出身は庄原市東城町の帝釈です。帝釈とは言っても、観光地からは離れた小さな村です。小学校は家から3kmほど離れたところにあり、徒歩通学でした。その頃はとも雪が多く、肥料袋のソリや、竹で作ったスキーでよく遊んでいましたが、最近は雪が少なくなりました。高校は家政科で、勉強の他に調理、裁縫、保育・介護の実習があり、反物から手縫いで着物と羽織を作った事が思い出に残っています。高校卒業後は、広島市内の医院に勤めながら看護学校へ通っていました。

看護師を目指すことになったきっかけは？

瀧口 う〜ん。何かがあって看護師になろうと思った訳ではなくて…。たまたま近所のお姉さんが看護学校へ進学したから、「手に職もつくし、行ってみよう。」と思ったんです。当時特別やりたいことや、なりたいたいものもなく…。もし、近所のお姉さんが調理師学校へ進学していたら、今頃は調理師になっていたかも知れません(笑)。看護学校は2年で卒業し、その後、3年程お世話になった医院から転職することにしました。

大変だったことや楽しかったことは？

瀧口 最初の医院の後は、個人の外科医院へ転職しました。そこでは近所のお年寄りが集まっては、近況報告などを語りあっている姿が微笑ましかったのを覚えています。その後転職した精神科病院は、体力的には何も問題はなかったのですが、気持ちがしんどかったですね。病気が加齢によってできないことが増えるのは仕方がない、と受け入れられましたが、精神科の入院患者の中には、私と年代代でありながら、薬の影響で本来ならできるはずのことができなくなっている姿を見るのは非常に辛い経験でした。それもあってか、その後転職した、老健はとても心穏やかに過ごせた記憶があります。



ヨロシクお願いします



准看護師
瀧口美穂さん

こじか荘へ来てからは？

瀧口 そうですね〜早いもので15年が経ちました。高校生の頃からボランティアやアルバイトで老人ホームへ行っていたり、田舎育ちで年配の方と関わる事が多かったので、こじか荘はどこか安心できる環境でした。色々なところで仕事をしてみて、特養が一番ご家族との付き合いが深い気がします。何かあったときなどは、直接看護師がご家族へ連絡をしたりするので、ご家族の思いや考えが私たちに伝わりやすいというか…やりがいを感じます。

仕事以外の一面は？

瀧口 ずっとやりたかったソフトボールを高校から始め、社会人になってからも続け、ピッチャーから外野まで幅広くやっていました。ある年、ケーブルテレビ主催のソフトボール大会でランニングホームランをしたことがあって。その頃は走るのも早かったんですよ(笑)。試合後にはインタビューを受け、テレビ放送もあったような？他には…あっ！大型免許持ってます！一時期トラックの運転手になりたくて(笑)。トラックの運転席から見える景色は、とても見晴らしが良く気持ちよかったです。なかなかトラックに乗る機会はないですけど、一度その景色をみなさんにも見てもらいたいくらいです。

モットーや目標は？

瀧口 そうですね。あまり目標とか考えたことはないですけど…『平和が一番！』ですかね。自分が笑って過ごせたら、ご利用者にも笑って過ごしてもらえ、笑って過ごせるって事は自分が元気がいいことだし。一番は元気に定年まで…いや働けるまでは働きたいですね。家では大好きな猫四匹に囲まれて、癒やされながらのんびり優雅に生活できているので、この生活も守って行きたいです。

インタビューを終えて

話を聞けば聞くほど色々な一面があり、あっという間のインタビュー時間でした。「周りの人を笑顔にするには、まず自分が笑えない」との言葉にはとても共感でき、見習いたいと思いました。猫の癒しパワーでこれからも周りをたくさん笑顔にしてくれる事でしょう。



広報委員
田原史子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

編集後記

ご利用者の皆様と四季折々の行事が行えることに感謝しつつ、本年も皆様のご様子、たくさんお伝えできる広報誌を目指します。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

面会について

令和6年12月27日より、広島県にインフルエンザ警報が発令されたため、面会方法等が変更となっております。詳細はこじか荘ホームページでご確認ください。



ボランティア

10月
17日 鯉谷美紀枝様(散髪)
19日 おすび会様(シーツ交換)
11月
5・11・18・25日 匿名様(剪定)
22日 鯉谷美紀枝様(散髪)
12月
2日 匿名様(剪定)

大掃除へのご参加ありがとうございました。大掃除の後は、それぞれ面会をされました。やはりご家族と過ごされるひときは良いものですね。

家族大掃除 & 面会

特養

こじか荘の ひとコマ

クリスマス会

通所

おたんじょうび
おめでとうございます

寿



年末には、ご利用いただいた皆様への感謝の気持ちを含めて忘年会やクリスマス会を開催しました。クリスマス会では職員が歌やダンス、マジックショーを披露し、楽しい時間を過ごしていただきました。今年もご利用者の皆様が楽しく過ごしていただけるよう、通所職員一同明るく元気に頑張っていきます。

(通所課長 西村恵子)

あら？私、サンタ
みたいじゃない？

サンタがプレゼントを
届けに来てくれました。

葉牡丹栽培

例年通り敷地自治振興会様より葉牡丹栽培のご依頼をいただきました。残暑に負けず大きく育ちました。

日常風景

天気の良い日には観音様参りをしたり、世間話をしながら笑い合ったりと穏やかに過ごしておられます。

レクリエーション

輪投げや歌などを楽しめます。先日は初の試みとして、ハンドマッサージをしました。